

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
児童福祉論	笠松 将成	講義	2	社会福祉士	2	1, 2, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童福祉の理念と概要を理解し、児童福祉にかかわる法律や福祉援助サービスについても、現状と課題の検討を含めながら理解する。 2 子どもの成長・発達と生活実態について理解すると共に、子どもを取り巻く問題や課題（虐待、貧困、非行、不登校、DV等）について考える。 3 子どもや家族へのアプローチとして、多角的な観点からの支援を考える。 4 児童福祉施設職員としての実務経験を活かして、実践現場の状況や支援方法を事例から学ぶ。 						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童福祉の現状及び制度について理解する。 2 虐待が子どもの成長・発達に及ぼす影響について理解する。 3 具体的な事例から課題を見出し、支援や課題解決の方法を理解する。 						
回	学習内容						
1	児童福祉論の学びについてのガイダンス：授業の概要・目的・進め方・評価について説明する。						
2	児童福祉の歴史：児童福祉の理念と制度の発展						
3	児童福祉施設と専門職						
4	母子保健の現状と課題						
5	子どもの発達①：発達と各発達段階の特徴						
6	子どもの発達②：アタッチメントと愛着について						
7	子どもの発達③：虐待が及ぼす影響						
8	子どもも発達④：発達障害とトラウマ						
9	現代社会①：児童虐待の実態、予防・発見から介入・支援						
10	現代社会②：ひとり親家族や貧困家族の福祉						
11	現代社会③：少子化対策と子育て支援						
12	非行問題①：非行少年の背景と支援						
13	非行問題②：非行問題のある子どもと家庭支援						
14	事例検討①：児童福祉における援助活動の実際と専門職のあり方						
15	試験：課題レポート作成						
予習内容 復習内容	予習：講義中に示す文献や資料に目を通す等。 復習：配布資料の整理と考察メモの確認。						
教科書	テキストは使用しない。資料を毎回配布する。参考文献は講義中に適宜紹介する。						
成績評価	毎回小テストを行う（50%）。課題レポート（50%）の総合評価。 5回を超える欠席をした場合には評価の対象外とする。						
実務経験	国立の児童自立支援施設での勤務15年、現在三重県の児童自立支援施設での勤務をもとに、現場経験を活かした内容の講義をします。						
その他 特記事項	子どもを取り巻く環境は大きく変化しています。また、児童虐待やDV、発達障害など様々な形で耳にすることがあると思います。基本的な知識や理解を深め、私たちにできることを実際のケースに触れながら講義だけでなく、ディスカッション等を踏まえ一人一人が考えるきっかけになっていただければと思います。積極的な授業参加をお願いします。						